

平成 29 年度在宅医療・介護連携推進事業取組状況について

1. 在宅医療・介護連携推進事業 8 項目

項 目	内 容
ア 地域の医療・介護の資源の把握	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の医療機関・介護事業所の分布、機能を把握し、マップ又はリストの作成 ・在宅医療の取組状況、医師の相談対応が可能な日時等の調査・結果を関係者間で共有、住民に周知
イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の医療・介護関係者等が参画する会議を開催し、在宅医療・介護連携の現状を把握し、課題の抽出、対応策等の検討
ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の医療・介護関係者の協力を得て、在宅医療・介護サービスの提供体制の構築
エ 在宅医療・介護関係者の情報共有の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・地域連携パス等の情報共有ツールや情報共有の手順を定めたマニュアルを活用し、地域の医療・介護関係者間で、事例の医療、介護等に関する情報の共有を支援（電子連絡帳）
オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援	<ul style="list-style-type: none"> ・医療・介護関係者の連携を支援するコーディネーターの配置等による、在宅医療・介護連携に関する相談窓口の設置・運営により、連携の取組を支援
カ 医療・介護関係者の研修	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の医療関係者に介護に関する研修会の開催、介護関係者に医療に関する研修会の開催 ・地域の医療・介護関係者が、多職種連携の実際等についてグループワーク等の研修会の開催
キ 地域住民への普及・啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療・介護サービスに関する講演会の開催 ・パンフレット、チラシ、広報、HP 等を活用しての、地域住民の在宅医療・介護連携の理解の促進
ク 二次医療圏内・関係市町村の連携	<ul style="list-style-type: none"> ・同一の二次医療圏域内にある市町村や隣接する市町村等が連携して、広域連携が必要な事項について検討

2. 主な取組状況

【会 議】

尾張中部医療圏在宅医療・介護連携推進協議会

協議会：1回（5月）実施

ワーキング部会：4回実施

【研 修】

① 尾張中部地域ケアサミット

日にち：平成29年10月8日（日）

参加者数：246人

講演：「地域包括ケアの今とこれから」

パネルディスカッション：安心して過ごせる地域社会に向けて

② 尾張中部医療圏在宅医療・介護連携研修会

日にち：平成29年12月16日（土）

参加者数：116人

講演：末期がん患者～“在宅医療”、“病院の緩和ケア”

事例報告、グループワーク

【きよすレインボーネットの運用】

資料2参照

【在宅医療サポートセンター】（平成30年度から市の事業）

目的：在宅患者が住みなれた地域で質の高い医療サービスを安心して受けられるように、地域の需要や実態にあった在宅医療を提供する体制の充実・強化を図るために、在宅医療連携体制を整備することを目的とする。

経緯：平成24年から26年まで国で開始され、愛知県では平成26年1月から27年3月までモデル的に一部の医師会で実施。

その後、平成27年度から29年度までは公益社団法人愛知県医師会が実施主体となり県の補助金をうけて、西名古屋医師会が運営・活動している。

30年度からはその県の補助金が廃止となり、各市町村が実施主体となる。

内容：国の示す在宅医療・介護連携推進事業の8項目を実施。